

都市再生整備計画 事後評価シート
福井まちなか地区

令和6年3月


福井県福井市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	福井県		市町村名	福井市		地区名	福井まちなか地区		面積	300ha				
交付期間	平成30年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	4,343.1百万円	国費率	0.5					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(自転車車庫、公共サイン)、高質空間形成施設(福井城址周辺整備、市道中央1-625号線、豊島上町線他2路線)、高次都市施設:観光交流センター(北陸新幹線福井駅東口拡張施設)、既存建造物活用事業:誘導施設(教育文化施設(図書館))、既存建造物活用事業:高次都市施設(地域交流センター)											
		提案事業	地域創造支援事業(賑わい拠点化・魅力向上事業、回遊性向上事業、賑わい創出事業、福井市版スマートシティ推進事業、まちなかレンタサイクル事業)、事業活用調査(事業活用調査)、まちづくり活動推進事業(民間まちづくり活動支援事業、県の顔づくり推進事業、まちなか空間活用事業)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 ①公園(三秀公園) ②地域生活基盤施設(広場(水道記念館)) ③地域生活基盤施設(駐車場(水道記念館)) ④地域生活基盤施設(公開空地(地区計画広場))			削除/追加の理由 ①・②・③福井市財政再建計画によって、事業を令和6年度まで凍結することとし、事業を削除 ④他事業(スマートウェルネス住宅等推進事業)にて実施することになったため、事業を削除し、関連事業とする			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ①指標への影響はなし ②・③指標への影響はなし ④指標への影響はなし					
		提案事業	①地域創造支援事業(まちなか観光周遊事業) ②地域創造支援事業(まちなか滞在推進事業)			①・②まちなか地区の観光地を二次交通を活用し、滞在時間延長や中心市街地の回遊性向上を図る事業を計画していたが、公共交通の利用や誘導施設と連携した取組等を別事業により実施することになったため、事業を削除			①・②別事業(地域創造支援事業)を増額するため、指標への影響はなし					
	新たに追加した事業	基幹事業	①道路(市道中央1-373号線) ②道路(3・5・68東口南線) ③公園(中央公園) ④地域生活基盤施設(広場(北陸新幹線福井駅東口拡張施設)) ⑤地域生活基盤施設(広場(えげん鉄道高架下)) ⑥高質空間形成施設(東口駅前広場)			①無電柱化を実施するため、電線共同溝の整備に係る事業を追加 ②道路の一方通行化を行うため事業を追加 ③雨天時にも利用できる屋根付き広場を整備するため事業を追加 ④高次都市施設:観光交流センターの一部を移行 ⑤鉄道高架下を多様な都市活動に利用できる広場にするため追加 ⑥融雪設備を整備するため追加			①指標への影響あり(歩行者・自転車通行量の目標値) ②指標への影響はなし ③指標への影響はなし ④指標への影響はなし ⑤指標への影響はなし ⑥指標への影響はなし					
提案事業		①地域創造支援事業(まちなかテラス連携事業)			①オープンスペースを活用したソフト事業の展開により、まちなかの回遊性向上を図るため追加			①指標への影響あり(歩行者・自転車通行量の目標値)						
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		・影響はなし								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標2	公共施設の利用者数	人/年	491,150	H28	584,455	R6	571,818	△	あり	福井市立図書館のリニューアルオープンが計画期間の後半となり、期待していた事業効果を十分に発揮できなかったことが主な原因となって目標未達成となった。 ただし、駅前に立地する桜木図書館は、各種イベントの効果によって回復傾向にある。 また、今後、福井市立図書館のリニューアルの周知やイベントの充実、地域交流センターの活用が図られれば、目標の達成が期待される。	R7年4月		
	なし													
指標3	観光施設利用者数	万人/年	157	H28	159	R6	203	○	あり	まちなかで開催された各種イベントの集客効果、歩行者ネットワークの整備などに伴うアクセシビリティの向上が主な要因となって目標を達成した。 一方で、事業完成が計画期間の後半となり、期待していた事業効果を十分に発揮できていない面があるため、今後は更なる事業効果の発現が期待される。	R7年4月			
なし														
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
その他の数値指標1	-						モニタリング	評価値						
4) 定性的な効果発現状況	駅周辺で実施されてきた各種事業の進展や北陸新幹線金沢・敦賀間開業への期待感の高まりを背景に、地価の上昇や市街地再開発事業の進展、福井版ほこみち制度が実施されるなどの動きが生まれている。													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	官民連携による取組	・福井市立図書館のリニューアルに向けたワークショップ ・民間企業と連携した賑わいづくり			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● 今後も市民のまちづくり意識の啓発や各種事業に市民意向を反映するために、ワークショップ等の市民参加の機会を提供するほか、取り組みの結果をマスコミ等と連携して広く周知する。
持続的なまちづくり体制の構築	・「まちづくり福井株式会社」:中央一丁目のエアマネジメントを担う組織としての機能強化 ・「一般社団法人 EKIMAE MALL」:練福井新聞社との協働による学生によるまちづくりの支援			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● 今後も市民や民間の取り組みに対して支援を行うとともに、官民が連携して中心市街地の活性化に向けた取り組みを進める。	

様式2-2 地区の概要


福井まちなか地区(福井県福井市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
目標 ○公共交通の利用と連携したまちなか地区の賑わいの再生 ○歴史資源を活かしたまちなか地区の魅力向上 ○まちなか地区における生活機能の確保		歩行者・自転車通行量 単位: 人/日		32,334	H29	37,500	R6	39,298	R6
		公共施設の利用者数 単位: 人/年		491,150	H28	584,455	R6	571,818	R6
		観光施設利用者数 単位: 万人/年		157	H28	159	R6	203	R6



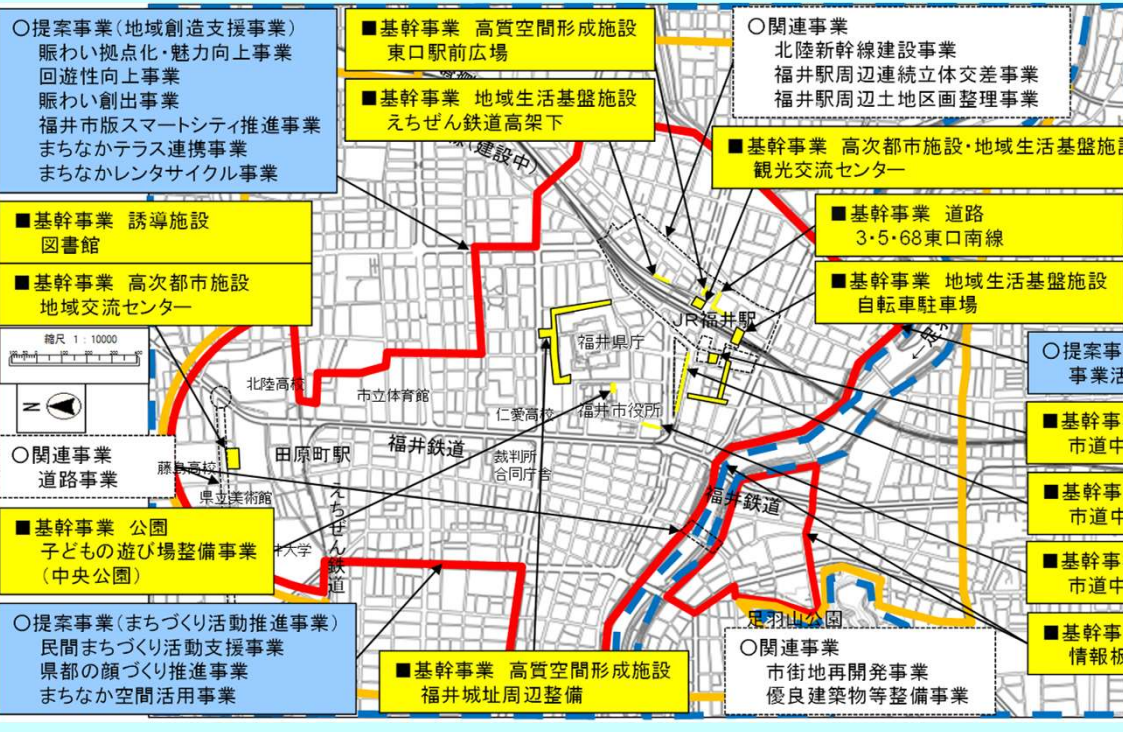
▲道路:3・5・68東口南線




▲高質空間形成施設:




▲高次都市施設:
北陸新幹線福井駅東口拡張施設




凡例
 ■ 基幹事業
 □ 提案事業
 ○ 関連事業
 〇: 都市機能誘導区域
 □: 居住誘導区域
 〇: 都市再生整備計画区域(A=300ha)



▲既存建造物活用事業(誘導施設):
教育文化施設(図書館)



▲地域創造支援事業:
賑わい創出事業



▲まちづくり活動推進事業:
まちなか空間活用事業

まちの課題の変化

- ・令和5年10月に福井駅東口の新幹線駅舎に併設して福井市観光交流センターがオープンし、情報発信や交流の拠点が形成されたが(観光案内所は新幹線開業に合わせてオープン)、令和6年3月に開業する北陸新幹線で福井駅に訪れる来訪者を、如何にまちなかの観光や回遊に誘導するかを引き続き検討する必要がある。
- ・まちなかの歩行者ネットワークや駐輪場の一部、公共サイン、レンタサイクルスペースが完成し、徒歩や自転車による快適な移動環境が整ったが、民間事業の遅れに伴い、当初の予定通りに実施できなかった事業を含め、歩行者ネットワークの更なる充実に向けて、引き続き整備を進める必要がある。
- ・コロナ禍以降に、民間の団体や企業による多様なイベントが開催され、中心市街地には様々な年代の参加者が集ったが、まちなかの新たな交流拠点として期待される中央公園やえちぜん鉄道高架下の広場は、予定されている令和6年度の完成に向けて、引き続き整備を進める必要がある。
- ・福井駅から福井城址を介して養浩館に続く歩行者動線の高質化が一部完成し、また、養浩館のライトアップやグリフィス記念館での催しなど歴史資源を活かした取り組みが行われ、歴史資源の周知や賑わいの創出されているが、まちなかの歴史資源を結ぶ歩行者動線の高質化が一部未完成であるため、引き続き整備を進める必要がある。
- ・令和6年春にオープンする福井市立図書館、地域交流センターについて、豊かな暮らしや文化、地域社会の発展へ持続的に寄与するよう、利用の促進や運営における市民参画などに取り組む必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・事業整備された施設等に関する情報やレンタサイクル利用促進事業、まちなか誘客促進事業等の回遊を促すようなソフト面の取組みに関する情報を利用者・来街者目線で発信する等、官民連携による来街者へのおもてなしを徹底する。
- ・北陸新幹線福井開業を迎え、福井へのリピーターを増やすために、市道中央1-330号線整備事業、市道中央1-373号線整備事業、自転車駐車場整備事業等の未完了事業を早急に完成させ、共用を開始し、加えて、県都まちなか再生事業や魅力あるまちなか創出事業等、民間の建物改築等の設備投資を促すための支援を実施し、まちなかの魅力向上に取り組む。
- ・歴史資源を結ぶ回遊散策を促進させるために、福井城址周辺整備事業を実施する等、これらをつなぐネットワークの構築に努め、加えて、官民連携による歴史資源を生かしたイベントの企画やレンタサイクル利用促進事業、まちなか誘客促進事業等に取り組む。
- ・地域住民の主体的な活動を促しながら、三秀公園整備事業、寿公園整備事業、グリフィス記念館外構整備事業、福井城坤櫓等復元整備事業(県事業)、北の庄城址や柴田公園の利用促進に向けた取組み(資料館の充実等民間による事業実施)等を通して歴史を感じる空間を整備し、歴史資源を活かした回遊性の向上に取り組む。
- ・灯のまちづくり事業、「和モダン」のまちなみ形成に寄与する民間の建物改築や新規建築に対する支援を実施し、以前、料亭街だった浜町エリアの再生、ブランドの復活に向けて官民が連携して取り組む。